

パーソンセンタードプランニング 発達障害のある方がより良い生活を送るための支援

オレンジ郡リージョナルセンター（RCOC）では、パーソンセンタードプランニングをガイドとして、一人ひとりが健康かつ幸せで生きがいのある生活を送れるように尽力しています。RCOCでは常にサービス受給者のニーズを最優先することに専念していますが、パーソンセンタードシンキングは個人への焦点をまったく新しいレベルに引き上げます。パーソンセンタードプランニングは、RCOCがサービス受給者の健康と安全を改善させながら、より有意義なサービスと支援を特定するための独創的で創造的なフレームワークとなります。

パーソンセンタードプランニングとは？

パーソンセンタードプランニングとは、私たちがサービスを提供する方（またはサービス受給者が子供の場合は、保護者や介護者）が、将来に対する希望や夢を見つけることを支援するプロセスです。そのビジョンを念頭に置けば、そこに到達するために家族、友人、地域社会、サービス機関から必要な支援を見つけることができるようになります。RCOCのサービスコーディネーターはこのアプローチを使用し、個人や家族のニーズをより深く理解したうえで、Individual Program Plan (IPP、個別プログラムプラン) や Individual Family Service Plan (IFSP、個別ファミリーサービスプラン) を作成できます。

パーソンセンタードプランニングは何か違いますか？

パーソンセンタードシンキングとパーソンセンタードプランニングでは、IPPやIFSPの目標の裏にある目的を重視します。パーソンセンタードアプローチでは、たとえば挑戦的行動をとる人に対して、単にその行動の減少を達成するなどのために努力するよりも、さらに深いところまで押し進めることができます。パーソンセンタードシンキングでは、目標は極めて重要ですがそれはあくまでも手段であると認識し、障害者が仲間との交流、野球観戦、やりがいのある仕事など、彼らにとって重要な生活活動に、より完全に参加できるようにします。

またこのプロセスによって、家族は成人した子供や兄弟姉妹にとって何が大切かを新たに学ぶことができます。また幼い子供を持つ親は、息子や娘が堅実で実りある人生が送れるようにするための新たな手段を得ることができます。たとえば、RCOCがサービスを提供する方はそれぞれ、本人やご家族が学校区の職員やレスパイトのスタッフ、さらにはその方と接する可能性のある医療関係者と共有できる、1ページの鮮明な説明文を持つことができます。パーソンセンタードプランニングプロセスの発展形であるこの1ページの説明文には、その方についての重要な洞察、その方にとって何が幸せなのか、その方をどのように支援するのがベストなのかが記載されています。さらに重要なのは、この説明文はその方の成長、発展、成熟に合わせて、常に更新され続けます。

